

令和元年産 紀南のすもも産地情報

2019/08/01

「生育概況」

1. 本年のすももの開花は、主力の大石早生の満開が3月28日と平年より2日程度遅くなった。サンタローザ・ソルダムの満開は3月23日となり、大石早生との満開期に5日の差があった。また、大石早生の開花期間は15日間と平年並みとなった。

4月に入り上・中旬は平年を下回る降水量となり、肥大への影響が心配されたが、4月下旬・5月下旬にまとまった降雨があり、肥大はほぼ平年並みとなった。

大石早生の出荷は6月5日から始まり、6月13日のピーク頃より他産地の入荷量が増え、苦しい販売となった。

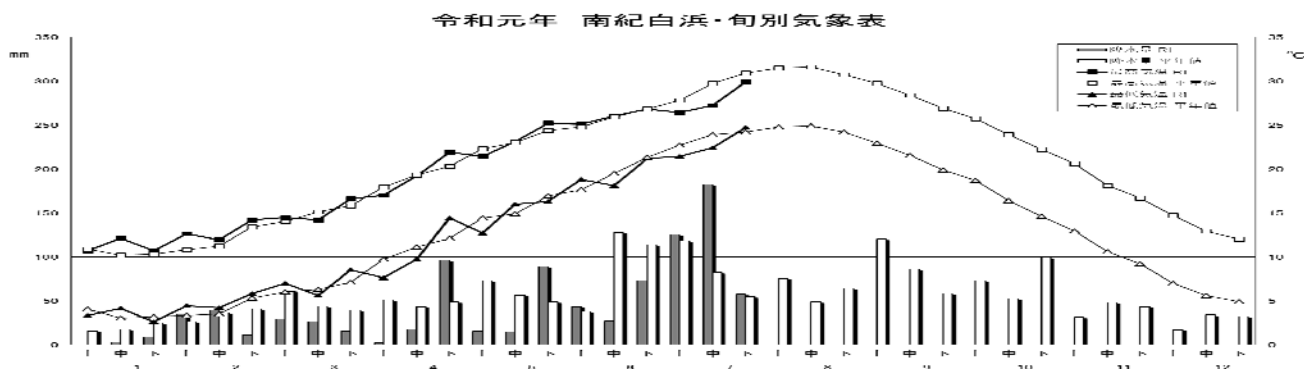
ソルダムの出荷は6月17日から始まり、7月8日にピークを迎え7月16日で販売を終了しているが、6月下旬から曇雨天が続き気温も低く推移したことから、出荷期間が長くなった。

2. 生産見込み量は、大石早生・サンタローザ・ソルダムとも前年・平年より少なくなった。

8/1日時点（生産見込量：トン）

品種	元年産	30年産	平年	前年比	平年比
大石	169.8	223.5	203.4	76%	83%
サンタローザ	14.1	16.9	22.4	83%	63%
ソルダム	70.4	93.5	90.2	75%	78%

3. 果実生育期の気温は、ほぼ平年並みとなった。また降水量は4月下旬・5月下旬に平年を上回ったが、それ以外は平年を下回る降水量であった。



南紀白浜気象データより

「産地の課題と方向」

主力である大石早生の生産量 220 t を確保するため、引き続き老木樹の改植、他品目からの転換と、授粉対策の徹底により安定生産に努めることが重要である。